

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート

部課名	福祉部	高齢福祉課
施設名称	(17) 東京都台東区立特別養護老人ホーム蔵前	指定管理者
選定方法	■公募 □継続特例 □非公募	指定期間
		H26. 4. 1 ~ H31. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をし、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区蔵前2-11-7 [規模] 延べ床面積 3,937㎡のうち3,363.41㎡ 鉄筋コンクリート造 地上7階地下2階 相談室、居室、食堂、ボランティア室、浴室（機械浴、一般）など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助（食事、介護（排泄・入浴援助））、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等。 [自主事業] 空床利用ショートステイ
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者 [利用料金制] ■有 □無 □その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 33名（内訳）…施設長（1）、事務員（1）、相談員（1）、介護職員（常勤19、非常勤4）、看護職員（常勤2、非常勤1）、介護支援専門員（1）、栄養士（1）機能訓練指導員（非常勤2）

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	61,132,000	61,132,000	61,467,000	61,467,000
	利用料金収入	217,493,000	226,950,080	217,180,000	229,855,278
	その他収入（積立資産取崩収入）	7,637,000	3,141,154	1,675,000	3,013,939
	計	286,262,000	291,223,234	280,322,000	294,336,217
支出	人件費	187,400,000	183,893,223	178,957,000	180,797,932
	光熱水費	24,655,000	21,129,810	23,140,000	19,571,907
	維持管理費（委託料・賃借料）	32,636,000	35,506,240	32,364,000	36,757,565
	修繕費	2,571,000	1,603,225	2,491,000	4,107,547
	事業費	0	0	0	0
	その他支出	39,000,000	37,692,425	43,370,000	38,106,169
	計	286,262,000	279,824,923	280,322,000	279,341,120
収支			11,398,311		14,995,097

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
入所定員	人	50	50	50	50

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用率	%	98	99.2	97.8	94.8
利用者数	人	17,300	18,100	17,893	17,296

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

地域福祉の拠点として、地元町会や見守りネットワーク会員、協力相談員、近隣学校、幼稚園、家族会、ボランティアとの連絡調整、連携を推進した。特養利用者は減少したが、自主事業としての空床を活用したショートステイの利用者は増加している。

**6. 評価の観点** (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令を順守している。防災委員会・防災訓練を毎月実施し、浅草消防署『自衛消防コンクール』に参加し、優秀賞を受賞するなど危機管理対応に努めている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	事業計画に基づき、内部研修、外部研修ともに積極的に参加し職員の育成に努めた。長期入院者の増により利用率が昨年より低下したが、空床型ショートステイを活用し、空床期間の短縮に取り組む等によりショートステイ利用率は向上した。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設設備の経年劣化により施設の運営に支障が生じないよう、区への営繕工事の要望を行うなど、施設の維持管理に努めた。感染症委員会や衛生委員会を毎月実施し、衛生管理を適切に行った。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	受付に「御意見・苦情箱」を設置し、幅広い意見を集約した上で、年に1度、第三者委員の参加による「会議」を実施するなど、利用者の意向に沿ったサービス向上を図った。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	ショートステイ利用者の増加による収入増や経費の節減により収支はプラスとなっている。

(6) 優れた取組み <b>《加点項目》</b> <small>※点数上限：10点</small>	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

**7. 総合評価** 極めて良好 (110~101) ・良好 (100~91) ・適正 (90~70) ・改善指示 (69以下)

<b>良好</b>  ( 99 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>事業計画や収支予算に基づき、適切に事業が執行されている。胃ろう等の経管栄養者の受け入れやターミナルケアの実施、空床型ショートステイを活用した利用者の受け入れ等、利用者の多様なニーズに対応した施設運営に努めている。</p>	<p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>事業の運営について、長期入院者が増加し利用率が低下した。</p>
-------------------------------	---	---